

札幌市立米里小学校

全国学力・学習状況調査の結果について

今年度の全国学力・学習状況調査について、学校としての結果をまとめました。課題と改善の方法も含めてお知らせいたします。この調査は現6年生が対象となった結果ではありますが、他学年にも共通する学校全体の結果として捉え、授業改善等に生かしていきます。

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向について

小学校 国語	本校の概要	成果と課題	改善の方向
	【領域】 □「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ・全国平均と比べ、下回っている。 □「情報の扱い方に関する事項」 ・全国平均と比べ、上回っている。 □「我が国の言語文化に関する事項」 ・全国平均と比べ、上回っている。 □「話すこと・聞くこと」 ・全国平均に比べ、やや下回っている。 □「書くこと」 ・全国平均に比べ、下回っている。 □「読むこと」 ・全国平均に比べ、下回っている。	●学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。 ○情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができた。 ○時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができた。 ○話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめることができた。 ●目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり、関係付けたりして、伝えあう内容を検討することに課題がある。 ○書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考えることができた。 ●目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。 ●時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることに課題がある。	※授業、朝の国語チャレンジ、宿題、自主学習（ぐんぐん）を通して、学年別漢字配当表に示されている漢字の確実な定着を図る。 ※情報と情報の関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を、授業や生活の中で生かす機会を引き続き設ける。 ※引き続き朝の読書の充実を図り、児童が日常的に読書に親しむことができるようにする。 ※明確に伝えるための構成の理解や目的に応じた資料の提示の仕方が身に付くように、学習活動の充実を図る。 ※引き続き、伝えたいことの中心や根拠を明確にして書く指導の充実を図る。 ※並行読書や単元末に紹介されている本を読む機会を設け、児童がいろいろな本に触れられるようにする。

本校の概要

課題

改善の方向

小学校 算数

【領域】

□「数と計算」

- ・全国平均に比べ、下回っている。

□「図形」

- ・全国平均に比べ、下回っている。

□「測定」

- ・全国平均に比べ、やや下回っている。

□「変化と関係」

- ・全国平均に比べ、やや下回っている。

□「データの活用」

- ・全国平均に比べ、下回っている。

- 異分母の**分数**の加法の計算をすることに課題がある。

- 示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算することに課題がある。

- 角の大きさについて、ほぼ理解している。

- 平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて**平行四辺形を作図**することに課題がある。

- 基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、**式や言葉を用いて記述**することに課題がある。

- はかりの目盛りを読むことがほぼできている。

- 伴って変わる二つの数量に着目し、問題を解決するために必要な数値を見出し、知りたい数量の大きさの求め方を**式や言葉を用いて記述**することに課題がある。

- 知りたい数量の大きさの求め方を**式や言葉を用いて記述**することに課題がある。

- 「10%増量」の意味をを解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができた。

- 目的に応じて適切なグラフを選択して、出荷量の増減を判断し、その**理由を言葉や数を用いて記述**することに課題がある。

- 簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶことに課題がある。

※授業、朝の算数チャレンジ、宿題、自主学習（ぐんぐん）を通して、**四則計算の確実な定着**を図る。

※図形を構成する要素や図形同士の関係に着目し、**筋道を立てて問題を解決**できるようにする。

※**問題場面**を図や式に表したり、**式の意味や計算の手順**を説明したりする活動の充実を図る。

※伴って変わる二つの数量の**意味及び表し方について理解を深められるよう**に指導を工夫する。また算数の授業で学習したことを**日常生活と結び付けて考え**られるような学習活動の充実を図る。

※児童が必要なデータを読み取れているかを確認するために、**データを読み取って捉えたことを伝え合う活動**を充実を図る。その際、児童の興味や気付きから生じた疑問を解決できるような**身近な問題場面を設定**する等工夫していく。

本校の概要

課題

改善の方向

【領域】

□「エネルギー」を柱とする領域
・全国平均に比べ、下回っている。

□「粒子」を柱とする領域
・全国平均に比べ、やや上回っている。

□「生命」を柱とする領域
・全国平均に比べ、下回っている。

□「地球」を柱とする領域
・全国平均に比べ、やや下回っている。

●電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻き数によって変わることの**知識が身に付いていない**。

●乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する**知識が身に付いていない**。

○水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解している。

●「水は温まると体積が増える」を根拠に、海面水位の上昇した理由を予想し、**表現することに課題**がある。

●ヘチマの花のつくりや受粉についての**知識が身に付いていない**。

●発芽するために必要な条件について、実験の条件を制御した解決の方法を発想し、**表現することが難しい**。

●赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、「結果」をもとに結論を導いた**理由を表現することに課題**がある。

●赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、「結果」や「まとめ」を基に、**他の条件での結果を予想して、表現することに課題**がある。

※実験で得た結果を目的に応じて整理し、結果から分かることを振り返る。また、復習を促し、**知識の定着を図る**。

※実験の際は、生活経験やこれまでの学習をもとに予想を立てる活動を充実し、結果に対して分析し**文章に表現する活動の充実**を図る。

※動植物のつくりの名称を理解するとともに、実験や観察の結果を表等に**適切に表現する活動を充実**し、結果から分かることと分からないことを正しく捉えるよう丁寧に指導していく。

※素朴概念と実際の科学現象とのズレから問題意識を生み出し、解決に向けて必要な実験方法や事実を整理して道筋を構想し、結果から考察する**問題解決的な学習の充実**を図る。

全国学力・学習状況調査での「児童質問紙」について

全国学力・学習状況調査では、学習意欲や生活の様子などに関する質問調査を行いました。質問紙の結果を基に、より良い教育活動につなげていきたいと考えます。全国と比較して本校児童の顕著な傾向が見られる質問項目をお知らせいたします。ご家庭でも、お子さんの学習や生活の充実のため下記の結果を参考にさせていただきたいと思います。

学習に取り組む態度・学習習慣

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合

学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	本校：76.5%	全国：79.4%
---	----------	----------

○学習の内容や方法の振り返りを行い、よりよく学習しようとする姿勢が見られます。こうした前向きな姿勢を日常の授業に生かせるよう、粘り強く関わっていきます。

※「1時間以上」と回答した割合

学校の授業以外に普段(月～金曜日)1日当たりどれくらい勉強しますか	本校：31.3%	全国：54.0%
-----------------------------------	----------	----------

※「1時間未満」「全くしない」と回答した割合

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか(学習塾や家庭教師の先生と勉強している時間やインターネットでの学習を含む)	本校：70.6%	全国：52.7%
---	----------	----------

※「できている」「どちらかといえばできている」と回答した割合

分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	本校：68.6%	全国：81.7%
---	----------	----------

●宿題への取組はできていますが、自分で学習計画を立てて取り組むことに課題があります。ぐんぐん(自主学習)の提出率もよいとは言えません。目標をもち、学ぶ目的をもって自主的に家庭で学習できるように支援していきます。

※「全くしない」と回答した割合

学校の授業以外に普段(月～金曜日)1日当たりどれくらい読書しますか	本校：31.4%	全国：29.2%
-----------------------------------	----------	----------

●関連する質問で、家に本(雑誌を除く)が0～25冊しかないと答えた児童が60%いました。学校や家庭に本を置いたり、周りの大人が本を読む姿を見せたりするなどの環境整備が急務です。

家庭における生活習慣

※「している」「どちらかといえば、している」と回答している割合

朝食を毎日食べていますか	本校：82.4%	全国：93.7%
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	本校：78.5%	全国：81.9%
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	本校：92.1%	全国：91.0%

●朝食を摂ることや睡眠時間を確保することは健康面だけでなく、学力や集中力に関係すると言われています。健やかな成長のために「早寝早起き朝ごはん」の習慣づくりに取り組んでいきます。

※「よくある」「ときどきある」と回答している割合

地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか	本校：37.3%	全国：39.4%
--	----------	----------

○習い事や休日の遊びなど、様々な大人との関りの中で学んだり体を動かしたりする機会が確保されているようです。今後も、地域の教育力を生かして子どもを育てていきます。

※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している割合

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	本校：70.6%	全国：81.3%
----------------------------	----------	----------

●各教科の授業や道徳の授業、行事などの取組を通して、社会の一員としての自覚とより良い関わり方について考える機会を提供できるようにしていきます。

子どもの内面的・心理的傾向

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答している割合

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	本校：100%	全国：97.2%
人が困っている時は、 進んで助けて いますか	本校：94.1%	全国：93.7%

○子どもたちは、「思いやり」の気持ちを意識して過ごしている結果となっています。いじめはどんな理由があってもいけないと考える正義感もあります。学校生活の中で友達と協力して行事や係・委員会活動なども楽しく取り組むこともできています。今後も他者に対して優しく接することを心掛けて、楽しく学校生活を送れるように関わっていきます。

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答している割合

自分には、 よいところ があると思いますか	本校：70.6%	全国：86.9%
先生は、あなたの よいところ を認めてくれていると思いますか	本校：88.3%	全国：92.2%

●自己を肯定的に捉えられている児童の割合は高くないと言えます。仲間同士を認め合う活動の充実や教師や保護者といった周囲の大人から頑張りをほめてもらう機会を増やしていきたいものです。また、学習や運動、行事や係・委員会活動の中で「自分に自信をもつ」ための経験（ねばり強い取組、充実感が伴う活動など）を大切にし、これらの積み重ねを大事にしていきます。

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答している割合

将来の 夢や目標 をもっていますか	本校：76.5%	全国：83.1%
--------------------------	----------	----------

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答している割合

人の役に立つ 人間になりたいと思いますか	本校：100%	全国：96.4%
-----------------------------	---------	----------

- 夢や目標をもつなど、将来像を描きながら生活している児童の割合は高くないと言えます。総合的な学習の時間を始め、社会科や生活科の学習、学校行事等で出会う大人と関わる取組の中で、関わってくれる人の仕事への思いや子どもたちに対する願いを受け止める機会を設定して、大人にあこがれを抱けるようにしていきます。
- ふれあい活動や委員会活動、クラブ活動など高学年が学校のリーダーとして憧れとなるような活動を通して、自己有用感、自己肯定感を育むとともに、望ましい生活や人間関係を築く力を育てていきます。
- 人のために行動することで信頼を得て喜びを感じたり自己肯定感を高めたりしていけるように、「思い遣りの心」を大切にしたい教育活動を更に進めていきたいと思っています。まずは学校や家庭といった身近な大人が子どもたちにとってあこがれをもてる存在であるように、子どもたちに粘り強く関わっていきます。

学校HP (<https://www.yonesato-e.sapporo-c.ed.jp/>) の『学ぶ力』の育成』にも掲載しております。

